Course nun	nber	U-LAS30 10005 SJ11										
title in	有粉基搅油名 杂字部					name and d	ictor's , job title, epartment liation	A G	Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,HIRASAWA AKIRA Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,OGAWA HARUO			
Group Informatics Fig.					Field	Field(Classification) (I			Foundations)			
Language of instruction Japanese				Old	group	Group B		Number of credits		2		
Number of weekly time blocks	I Class stric		eminar Face-to-	minar Face-to-face course)			Year/semesters		2025 • First semester			
Days and periods	Mon.5 Targ		et year Mainly 1		year students		Eligible students		For all majors			

[Overview and purpose of the course]

コンピュータを利用する上で必要となる基礎知識とマナー、そして将来の研究活動に必要な情報科学ならびに情報処理の基礎に関する講義と演習を行う。

[Course objectives]

コンピュータの基本的な使用方法を身に付け、コンピュータによる文章作成,情報検索,プログラミングなどのコンピュータリテラシーを身に付ける。

[Course schedule and contents)]

基本的に以下の内容に従って講義を進める。ただし講義の進みぐあいなどにより、順序や同一テーマの回数を変えることがある。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

- 第1回導入、京都大学のネットワークサービスを理解する
- |第2回パソコンの利用
- 第3回ファイル操作、レポート、メールの利用について
- |第4回構造化文書の作成
- 第5回表計算ソフトによるデータ処理
- 第6回プレゼンテーション資料の作成
- |第7回学術情報の探索
- 第8回ネットワーク・Web
- 第9回ネットワーク(2)
- 第10回 Python環境準備
- 第11回 Python(1)
- 第12回 Python(2)
- 第13回 Pvthon(3)
- 第14回本演習のまとめ
- 第15回本演習の振り返り

[Course requirements]

薬学部1回生向けクラス指定科目である。情報処理の専門知識はとくに必要ない。座学的な内容は 情報基礎で行う。

[Evaluation methods and policy]

基本的なコンピュータの使い方、電子メール、webブラウザの利用も含めた基本的なネットワーク 利用に関する知識、基本的なプログラミングの理解について、提出されたレポートにより評価する。

情報基礎演習[薬学部](2)
[Textbooks]
詳細は初回の授業で説明する
[References, etc.]
(References, etc.)
Introduced during class
[Study outside of class (preparation and review)]
演習テキストの予習と、課題についての復習を必ず行うこと。 本演習により習得した技術・知識を , 他の講義科目のレポート作成等に活用することが望ましい。
[Other information (office hours, etc.)]
<u>-</u> 座学的内容は情報基礎[薬学部]で講義をする。併せて履修することが望まれる。
情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同 テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。